

**令和7年度 SSH 交流会支援事業
探究活動スタートアップ支援プロジェクトを開催しました！**

本校は、今年度 SSH 交流会支援の指定を受け、「『拠点校として科学技術人材のさらなる育成へ』～探究活動スタートアップ支援プロジェクト～」を展開しています。

その取組の一環として、探究活動の評価にかかるスタートアップ支援（非認知能力可視化）と題して、探究活動の過程を可視化し、評価する手法についての研修会を年間 5 回計画で実施してきました。

【ルーブリックの理論と作成方法 / パフォーマンス課題の理念 / 「4つの窓」を活用した支援方法 / 本校「創知」の見学会を実施 / 論文作成の指導法と留意点を共有】

この研修の今年度の集大成として、1月 30 日（金）に、本校 OB で、東京大学名誉教授／帝京大学中学校・高等学校 校長の市川伸一先生をお招きし、研修会を実施しました。

- | | |
|----|---|
| 1. | 日時 令和8年1月30日（金）14:00～17:00 |
| 2. | 場所 府立天王寺高等学校 |
| 3. | 内容 ①東京大学名誉教授 市川伸一先生による講演会
「高校で探究活動を成立させるための習得学習のあり方を考える」
②実践事例発表
・夕陽丘高等学校 「課題探究『夕陽学』の実践報告」
・狭山高等学校 「文理探究科設置に向けた研修の実践」
・天王寺高等学校 「グループおよび個人の探究プロセスを『4つの窓』で評価し、どのように支援するのか」
③パネルディスカッション |

◆市川先生の講演では、習得学習の例として『教えて考えさせる授業（OKJ）』について、探究のサイクルと習得のサイクルの二つのサイクルのバランスとリンクの重要性について、OKJ の理念（深い理解・メタ認知・Input－Output のバランス）について、4段階の授業構成（教師の説明・理解確認・理解深化・自己評価）について等、わかりやすく講義していただきました。

◆各校の実践事例発表の概要は以下のとおりです。

夕陽丘高校：総合的な探究『夕陽学』の指導体制や各年次における具体的な取組紹介。

狭山高校：普通科再編により来年度から文理探究科がスタート。新学科の「総合的な学習の時間」に向けて、教員の意識改革、カリキュラム開発等の実践報告。

天王寺高校：探究活動の過程を可視化するツール『4つの窓』。その『4つの窓』による評価について、具体的な事例を踏まえた実践報告。

◆パネルディスカッションでは、参加した方々からの質問を集約し、探究活動に関する課題共有や、課題解決に向けての実践事例についての情報交換会を行いました。参加者からは、新学科設置に指定されてからの学校運営体制に関する質問（教職員のベクトル合わせ）や、AIの活用方法（どの場面で、どのように活用？どのようにカスタマイズしているか？）等に関する質問が出されました。

◇参加者から、「市川先生の基調講演はもとより、実践をすでに進め、常に深化させている天王寺高校、夕陽丘高校だけでなく、準備段階の狭山高校の取組みについて聞くことができ、とても参考になった」等のご意見をいただきました。

◇今回、府内17校・府外4校の校長・教頭・首席・教諭 計30名、教育庁関係者等6名の参加がありました。

天王寺高校はSSHの拠点校として、SSH校はもとより、SSH校以外（SSH新規申請校・普通科再編校等）と連携し、探究活動にかかるスタートアップ支援を図り、地域全体の課題研究の取組の裾野拡大、向上をめざしていきます。

